



☆「交通安全教室」を実施しました

【5月20日(金)】

5月20日(金)の2限目に4・5・6年生が、
3限目に1・2・3年生が体育館で、鈴鹿市交通教育
指導員さんによる「交通安全教室」を受講しました。

2限目の高学年の交通安全教室では、まずはじめ
に「自転車」について説明をして頂きました。

- ・ 自転車は車と同じ仲間であること
- ・ 公道を走行するためには4つの保安部品が壊れ
ていると乗れないこと (未装着車は5万円以下の罰金になること) 【高学年の様子】
- ・ 安全にスタートするための正しい構え 等です。

※保安部品は「ブタはしゃべる」で覚えてくださいと言われました。「**ブレーキ**(よく効くか)」「**タイヤ**(空気は入ってるか)」「**ハンドル**(まがっていないか)」「**反しゃ材**(よく光っているか)」「**ライト**はつくか」「**ベル**(鳴るか)」です。交通安全教室での学習をいかして、自転車の点検を自分でできるようにご家庭でもお話してください。

※安全にスタートするための正しい構えは ①両手ブレーキ ②右足ペダル です。
車道側に倒れないためにも、ご家庭でもお話してください。

3限目の低学年の交通安全教室では、

○ちょうどよい自転車の
大きさは・・・

○どうやってとまろうと
したんだろう・・・

○運転手さんから
この子は見えるかな・・・



質問形式で大事なことを教えてもらいました。

- ・じてんしゃは1れつでひだりがわをはしる。
- ・とまるときはブレーキをかける。
- ・こうさてんではとまる。
- ・くるまがきていないかたしかめる



【低学年の様子】

※飛び出し実験



すぐに止まれるか、体を使って実験をしました。

各学年代表1名が出て、指導員さんの笛の合図で全力でダッシュ。次の笛でストップしたけれど、思ったよりか、すぐに止まれないことを体感しました。

代表の3名のみなさん、全力ダッシュありがとう。

すぐにストップは難しいですね。

同じように、車も40キロで走っているときは22m 50キロの時は32mも止まるのかかかると教えてもらいました。実際に32mがどれだけの長さなのか、指導員さんたちがメジャーではかってくれました。低学年のみんなからは、「めっちゃたいへんや」など驚きの声があがっていました。

そこで、指導員さんたちと、①とまる ②みる ③きく ④まつ の約束をしました。ご家庭でもお話をしてみてください。そして、うれしくない話ですが「交通事故にあっているのは7歳がいちばん多い」という話もしてもらいました。学校生活にも慣れて、「大丈夫」という過信や、「車こないな」といった油断や慣れが多いのかもしれませんがとお話してもらいました。もちろん、7歳以外の子どもも事故にあわないように気をつけましょう。

今日の宿題として「ヘルメットのあごひも」が指1本から2本のすき間になっているか確かめよう」と言われました。みんな、家に帰ってからチェックしましたか。

指導員さんから、大事な「かまへのポーズ」を教えてくださいました。自分の右側を車が通るので、「右足ペダル」が大切です。



「しっかり両手ブレーキ」
「みぎよし」「ひだりよし」
「みぎよし」「うしろよし」
を、何度も練習しました。

そして、低学年は自転車を押して横断する方がよい

ことも教えてもらいました。最後に交通指導員さんから、いくつかあった中で「右足ペダル」と「スタートの時にうしろを確認」できるようになってほしいと伝えてもらいました。

☆☆交通安全教室で学んだことや確認したことを守って安全にすごしましょう☆☆

